

未来につなぐ

街並みを活かす
棧敷窓アートの会
の世話人をされて
いる中田穰さん。
平成13年から年
2回行われている
棧敷窓アートや平
成20年から行わ
れている日野ひな
まつり紀行を開催
されています。中
田さんにお話を伺いました。



【イベントを始めるきっかけ】 地元がたくさんいらっしゃる工芸作家のクラフト展を日野の特徴である棧敷窓を活用してやりたいと思い、1軒1軒呼びかけ、協力をお願いしました。今ではひなまつり紀行で約150軒の家庭が協力していただいています。皆さん「お雛さんが喜んでほわ」と笑顔で話しかけてくださいます。イベントが、お客や友だちを呼ぶきっかけにもなっているようです。



中田穰さん

【中田さんの原動力】 訪れた方が喜んでくださったり、たくさんの方が協力してくださったりして、イベントができることが私の生きがいです。イベントは上手いことばかりではありません。けれど、上手いことだけが喜びでもありません。イベントで生まれるつながりや結束力が、私にとって「だから」なのです。



商工会女性部の皆さんによる、地域一体型の結婚式
三方よしのブライダル事業が始まっています。

古き良き まちなみを いかして



日野まちなみ保全会の
皆さんによる既存家屋の
ベンガラ塗りプロジェクト



日野祭曳山の巡行

町のたからを

安心、安全な野菜づくり、食育の取り組みが盛んに行われています。

平成25年4月
中学校給食が始まりました。
あたたかく栄養満点な給食は「うん、おいしい!」



妊婦検診の全額公費費用や福祉医療制度の拡充など安心して子どもを産み育てる制度が充実しています。平成25年4月にはつどいのひろば「ばけっと」が開所しました。



平成27年1月
町立保育所こぼと園では木の温もりあふれる新園舎で保育が始まりました。

日野町連合青年会や西大路ユースクラブなど青年活動が活発です。



どろんこバレー



近所の方同士のつながりが深く、協力しあって暮らしています。



平成21年7月から始まった農村生活体験では都会から年間約3,000人もの子ども達が訪れています。



合唱の町「日野町」たくさんの合唱グループがあり、毎日どこかで歌声がひびいています。